



日田市立博物館は、図録「日田の城址を歩く」を作りました。

①図録「日田の城址を歩く」は何を紹介したもの？

日田市内の城址やと
りで跡など計26カ所
を紹介。

日隈城内の入り口(虎口)の石垣を紹介する行時志郎市立博物館長



日田市立博物館

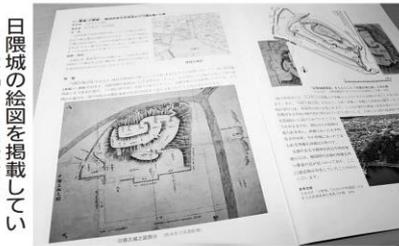
【日田】日田市立博物館(行時志郎館長)は、図録「日田の城跡を歩く」(A4判、56頁)を作った。市内の城跡やとりで跡など計26カ所を紹介した。このほど見つかった日隈城(戦国〜江戸)Ⅱ日ノ隈町Ⅱの絵図は、城の歴史を知る上で貴重な資料となつてい

図録で歩く日隈城

②熊本県立図書館で見つけたものは何？

絵図「日隈古城之図」

日隈城の絵図を掲載している図録「日田の城跡を歩く」



日田市立博物館によると、絵図「日隈古城之図」は熊本県立図書館で見つかり、昨秋、同博物館に連絡があった。行時館長が写真データを取り寄せて調べたところ、大手門(正面の入り口)の位置が判明。現在の亀山公園西側に当たり、

市内の城跡など26カ所まとめる

③絵図をもとにした調査で何が分かりましたか？

大手門や本丸に上る
虎口の石垣跡など城の
構造。

4。(刀根徹朗)

門沿いに二重に延伸する石垣が絵図に描かれていた。最上段の本丸に上る虎口(城内の出入り口)の石垣跡なども確認できた。城跡を調べたところ、一部に石垣が断片的に残っていた。「今まで絵図はなく、今回の調査で城の構造が具体的に分かった」という。図録にはこの他▽日田最後の城として親しまれる永山城(丸山)Ⅱ江戸▽自然の防壁に囲まれた難攻不落の「牛ヶ城」(中津江村栃野田ノ原)Ⅱ室町〜戦国▽平家軍の攻撃を3度にわたって防いだ櫛崎城(夜明関町)Ⅱ平安〜などを掲載。城を造る上で重要な地形・地質や、歴史を地図や写真とともに紹介している。行時館長は「今の隈や豆田は城ができ、城下町として発展してきた。城は日田の町をつくる源流と言える」と話している。500部製作。同館で600円(税込み)で販売している。問い合わせは同館(☎0973・22・5339)

「城は町づくりの源流」

④近くに城址はありますか？ どんなお城だったのか調べてみましょう。

いつ、誰が作ったのかなど調べてみましょう。